型式 SMZ-6501－P　PWM 信号制御調光ユニット　取扱説明書

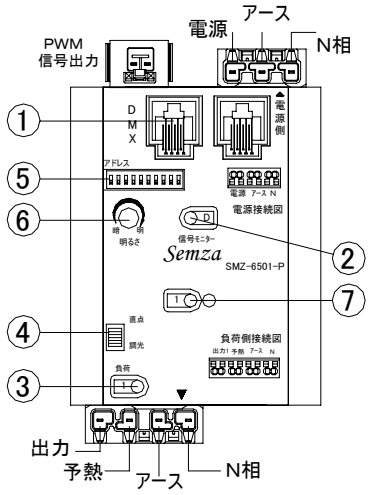
■特　長■

➢当装置は、DMX512 による外部信号で、 PWM 信号制御の調光用蛍光灯を最大30台まで使用できます。
➢外部動作信号にかかわらず蛍光灯電源を ON にすることが出来ます。
➢外部動作信号のない場合、本体ボリュームにて、明るさを調整できます。
➢ＬＡＮケーブルを挿すだけで操作器には電源が供給されます。
　電源は不要です。(ただし、操作器の種類により必要な場合もございます。)
➢電源、負荷出力がコネクター仕様のため、まし締めのメンテナンスが不要です。

■定格および主な仕様■

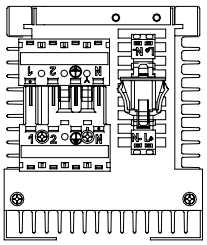
電　　源	AC100V 2 線　(200V 用は指定して下さい)	**周 波 数**	50・60Hz 自動検知
消費電力	約 2W＋負荷消費電力	**入力信号**	DMX512
外形寸法	W 88 mm×H111 mm(H142mm)×D 111 mm	**重　　量**	約 780g

■各部の名称と働き■　—イラストと現品は異なる場合があります—



■適合電線について

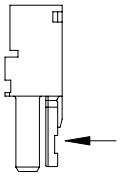
＊ＶＶＦ1.6 か 2.0 のケーブルで入力してください。
3.5 ｽｸｴｱなどのケーブルを使用する場合は棒端子を使用して下さい。



■信号の接続

＊信号線はＬＡＮケーブルのカテゴリー５以上のものを使用して下さい。
信号線の長さは最長 50M です。

■ユニットの取り替え



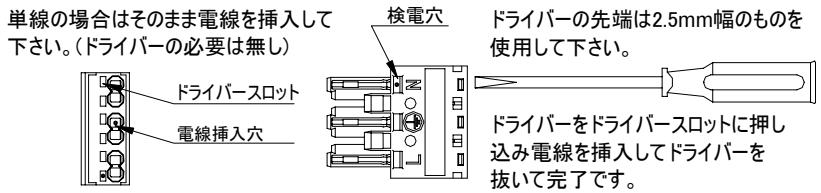
＊電源又は負荷線を外す際にはストッパーを押しながらコネクターを上に引き抜いて下さい。
＊盤に取付たユニットを外す際にはユニットの出力（下）側を手前に引いてから上に上げて下さい。

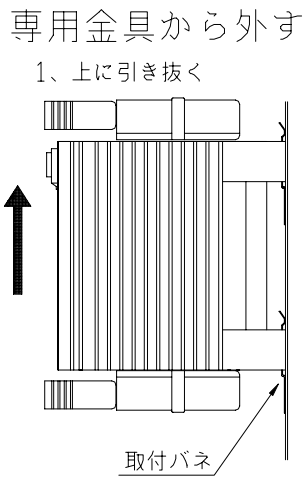
■蛍光灯電源

＊蛍光灯電源には極性はありませんが器具に表示のあるＮは N 側に接続して下さい。

■信号線の接続

＊信号（PWM）には]無極性ですが器具の施工は照明器具の説明書に準じて下さい。





①信号入力コネクター
　信号 DMX512 入力用のコネクターです。 1つは送り用です。

②通信モニター
　通信線が接続され信号を受けると、約 0.2 秒間隔で点滅します。

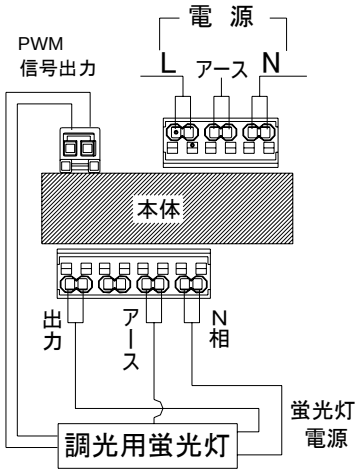
③電源出力モニター
　各出力回路が出力状態になると、点灯します。 直点時も点灯します。

④直点・調光スイッチ
　直点側にすると外部動作信号に関係なく、蛍光灯電源が ON になります。

⑤アドレス設定スイッチ
　ＤＭＸのチャンネルを設定するスイッチです。　◀≡ チャンネルの設定　参照

⑥明るさ調整ボリューム
　直点スイッチを直点側にしてボリューム操作を行って下さい。(調光側にすると電源が入らず点灯はしません。)
　DMX512信号のない場合、このボリュームにて明るさの調節が行えます。

⑦出力モニター
　信号入力 50%以上で点灯します



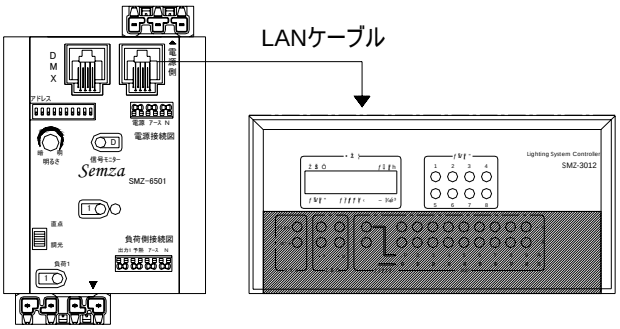
各コネクターは送り用に同等の2極付いています。

■電源の接続

＊N に接地側を接続して下さい。
＊電源にホット側を接続して下さい（100V）
　200V 用のユニットも用意しています。
＊電源には必ず保護ブレーカーを取付けて下さい。

■負荷線の接続

＊N と出力を蛍光灯電源に接続して下さい。
＊PWM 信号を蛍光灯に接続して下さい。
　信号には極性はありません。



■操作器の接続

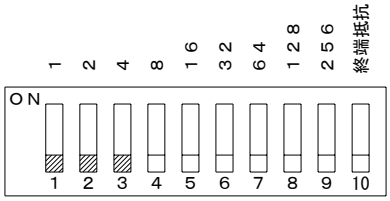
＊当社の操作器には、この調光器より LAN ケーブルで電源が供給されます。別の電源は不要です。
＊調光ユニット数が少ない場合は操作器により、動作しない場合があります。別途、専用電源をご使用下さい。
＊操作器に 100v 電源の付いている物は 100v を供給して下さい。

ユニット設置に際しての注意点

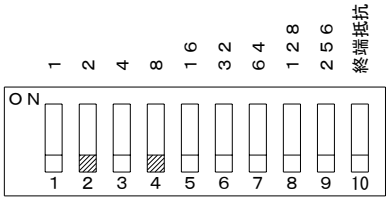
・装置両側の換気口は 50mm 以上離して設置して下さい。 ユニットを 5 台以上設置する場合は強制ファンを設置下さい。
・ユニット間は 15mm 以上離して設置してください。

●チャンネルの設定方法●

各回路のチャンネル番号は個別に設定することが出来ます。



例：７チャンネルに設定
（１＋２＋４＝７）



例：１０チャンネルに設定
（２＋８＝１０）

チャンネル番号は、図の上部に表記した数値を足した値に設定されます。

✷注　意✷

チャンネル設定後は、電源投入時のみ有効なので、設定後必ず電源を再投入してください。

■ご使用上の注意■　－装置を安全に末長くご使用して頂くために、次のことに注意下さい。

設置について

- 使用環境条件、周囲温度は 35℃以下　湿度80％以下（結露しないこと）にて使用して下さい。
- ほこりなどが発生しないで通風の良い場所に設置して下さい。
- 調光器は調光時に多少の騒音が出ますが異常ではありません。騒音を嫌う場合は設置する場所を考慮して下さい。

電気工事について

- 負荷を接続する前に必ず点灯、絶縁試験を行なってから接続して下さい。（500V以下の絶縁試験器）
- 音響等への雑音は考慮して配線をして下さい。同電源は使用しないで下さい。
- 電源室からの距離が離れすぎていたり、電力の余裕が無く電源が歪んだ所ではフリッカを起こすことがあります。
- 専門技術者の管理のもとに行ない、過電流遮断器を装置の 1 次側に設けて下さい。

製品は予告無く仕様を変更することがあります。イラストと現品は異なる場合があります。
〒175-0094 東京都板橋区成増 4-26-5　Tel.03-3938-5440　Fax.03-3939-2102
E-Mail: eigyou1@web-sanko.co.jp　http://www.web-sanko.net
株式会社 サンコーデバイス